

概 要

報告事項：令和 7 年度における第 3 次大津市文化振興計画の進捗状況について

①関連事業の進捗状況（資料 1）

令和 7 年度も、文化振興計画に掲げる各事業は概ね計画どおり実施され、文化芸術に親しむ機会の提供や文化活動の支援が着実に進められた。

文化施設については、前年度と同様に多くの市民の方々に利用されており、文化芸術活動の拠点として重要な役割を果たしている。また、各種展覧会や講座、ワークショップ等が継続的に実施され、市民が文化を鑑賞・体験・表現する機会の充実が図られた。

さらに、滋賀県と連携した障害者等の文化芸術活動支援事業などを通じて、多様な主体が文化芸術に参加できる環境づくりも進められた。

美術展や写真展、湖都の文学などの事業では、出品数としては概ね同数となっているが、出品者の高齢化、参加者層の固定化が引き続き課題となっており、次世代の担い手確保や新たな参加者の掘り起こしが求められる。

一方で、大津市民短歌・俳句大会においては、年々、若年層の出品が増えており、特に俳句の出品数が増加しており、児童生徒が創作活動に意欲的に取り組んでいる。

今後も、引き続き若年層や地域の担い手育成は大変重要なことから、文化芸術情報サイトを活用した情報発信の充実や、文化施設・文化団体間の連携強化を図ること
で、文化芸術活動の裾野をさらに広げていく必要がある。

②評価指標の進捗状況（資料 2）

令和 7 年度の評価指標は全 14 項目で構成されており、文化団体派遣事業の派遣回数、文化事業の出品数、文化財指定件数など、多くの指標において前年度実績を上回る結果となった。

特に、大津市文化団体派遣事業の派遣回数は 25 件から 35 件へ増加し、市民が文化芸術に触れる機会の拡充につながった。また、短歌・俳句大会や子ども向け文化事業の出品数も増加しており、文化活動への参加意欲の高まりがうかがえる。

また、令和 7 年度から運用を開始した文化芸術情報サイトには文化情報 240 件を掲載した。今後は本サイトを文化芸術情報発信の中核的なプラットフォームとして活用し、市民や観光客への効果的な情報発信を進めることで、文化活動への参加促進と地域文化の魅力発信につなげていく。